

定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■（仮称）新・道の駅やまだ備品の取得

（仮称）新・道の駅やまだで使用する備品の取得について、3議案が提案され、全員賛成で可決しました。

1つ目の議案では道の駅で取り扱う商品等の納入処理、在庫管理、精算処理を効率的に行うためPOSレジシステム（※1）を取得するためのものです。

2つ目の議案では道の駅での飲食提供のため厨房機器や飲食コーナーの整理券発券機などを取得するためのものです。

3つ目の議案では道の駅の飲食コーナーの配膳効率化や、非接触による感染対策の実現などを図るため自動配膳システムを取得するためのものです。

■ 4年度一般会計補正予算（第3号）

普通交付税の金額の決定や前年度繰越金の計上などによる財源の調整を行うとともに、各種事務・事業の適正な執行の確保を目的とした一般会計補正予算（第3号）が提案され、全員賛成で可決しました。

これにより、補正後の一般会計予算の総額は、歳入歳出ともに119億9941万6千円となりました。

※1 POSレジシステムとは

商品がレジを通ったその場で、商品名、価格などの販売情報を記録し、売り上げや在庫などのデータを集計・管理できるレジシステムのこと

財政健全化判断比率 良好な状態

地方公共団体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するため、4つの財政指標を「財政健全化判断比率」として定めています。

- 財政健全化判断比率
- ① 実質赤字比率
一般会計で生じた実質赤字額の標準財政規模に対する比率
- ↓ 実質赤字が生じていないため算定されず
- ② 連結実質赤字比率
町のすべての会計で生じた実質赤字額の標準財政規模に対する比率
- ↓ 実質赤字が生じていないため算定されず
- ③ 実質公債費比率
実質的に一般会計で負担すべき公債費の標準財政規模に対する比率
- ↓ 5・4%と算定
(良好)

④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

↓ 数値がマイナスとなるため算定されず

本町の3年度財政健全化判断比率は、町監査委員の審査の結果「いずれも、良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

公営企業会計 資金不足比率 良好な状態

公営企業会計資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを示すもので、本町の3つの公営企業会計において、町監査委員の審査の結果「良好な状態にあると認められ、特に指摘すべき事項はない」との報告を受けました。

閉会中の調査項目を決定

総務教育常任委員会と産業建設民生常任委員会では、閉会中の継続調査を行います。

総務教育常任委員会

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関することについて
- (2) 再生可能エネルギーに関することについて
- (3) ふるさと応援寄付金に関することについて
- (4) 持続可能な開発目標（SDGs）に関することについて
- (5) まちづくり政策の推進について
- (6) 小中学校について
- (7) 防災について

産業建設民生常任委員会

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応について
- (2) 商工観光の振興について
- (3) 水産業の振興について
- (4) 令和元年台風19号被害からの復旧復興について